

経営事項審査の申請を行う場合

業種ごとに作成する

（建設工事の種類）

とび・土・コンクリート

工事（税込・**税抜**）

税抜で作成すること。
（免税業者は税込処理とする）

下記の業種については、該当する内訳工事に○印を付し、工事金額を記載
土木一式：PC
とび・土工：法面処理
鋼構造物：鋼橋上部

記載例

注文者	元請又は下請の別	JVの別	工事名	工事現場のある都道府県及び市区町村名	配置技術者		請負代金の額	工期			
					氏名	主任技術者又は監理技術者の別（該当箇所にレ印を記載）		うち、 ・PC ・法面処理 ・鋼橋上部	着工年月	完成又は完成予定年月	
岐阜土木事務所	元請	JV	県道災害復旧事業	岐阜県岐阜市	江崎 真一	レ	50,000千円	30,000千円	平成28年10月	平成29年3月	
西濃農林事務所	元請		揖斐川水路工事	岐阜県大垣市	上野 祐二	レ	30,000千円	0千円	平成28年7月	平成28年12月	
(株)名古屋工業	元請		ビル基礎くい打工事	愛知県名古屋市	萩原 康三	レ	20,000千円			2月	
(株)揖斐工務店	下請		(株)揖斐工務店社屋基礎くい打工事	岐阜県揖斐川町	古井 四朗	レ	30,000千円		平成28年6月	平成29年3月	
(株)中濃組	下請		市道法面整備工事	岐阜県美濃市	長島 謙吾	レ	18,000千円	18,000千円	平成28年7月	平成28年12月	
A	元請		Aビル基礎工事	岐阜県岐阜市	南方 六助	レ	17,000千円	0千円	平成28年10月	平成29年2月	
(株)...	下請		長良川河川改修工事	岐阜県郡上市	萩原 康三	レ	15,000千円			2月	
最後に工事経歴書に記載しない完成工事について、件数及び合計額を「その他 ○件 ○○千円」と記載 〔元請・下請別に「その他 元請○件 ○○千円」「その他 下請○件 ○○千円」としてもよい〕								千円		平成 年 月	平成 年 月
③ ①以外の元請工事及び下請工事								千円		平成 年 月	平成 年 月
③ ② 未成工事								千円		平成 年 月	平成 年 月
岐阜土木事務所	元請		県道災害復旧事業	岐阜県岐阜市			70,000千円	60,000千円	平成29年1月	平成29年6月	

① 元請工事全体の7割超
② ①以外の元請工事及び下請工事

個人の氏名が特定されないように記載（「工事名」欄も同様）
法人名等はそのまま記載

各工事現場に置かれた配置技術者について、該当する箇所にレ印を記載

ここまでの計 元請工事の7割

ここまでの計 完成工事の7割
180,000千円 > 175,000千円

★ 経営事項審査を申請する場合の記載方法 ★

【完成工事】

① 元請工事について、その請負代金の額の合計額の7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載
注 「軽微な工事（500万円[建築1,500万円]未満の工事）」が併せて10件に達した段階で記載終了（7割を超えなくても良い）

※ ①を記載した段階で、完成工事全体の7割を超えた場合は、記載終了（②は記載不要）

② ①に続けて、①以外の元請工事及び下請工事について、完成工事全体の7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載
注 「軽微な工事（500万円[建築1,500万円]未満の工事）」は、10件まで記載
①で軽微な工事を記載した場合は、①と②の軽微な工事をあわせて10件でもよい
(例) ①500万円以上の元請工事2件+500万円未満の元請工事3件 ←元請7割超
②500万円以上の下請工事3件+500万円未満の元・下工事7件 *
* 軽微な工事が10件に達した段階で、記載終了（7割を超えなくてもよい）

【未成工事】

③ ②に続けて、主な未成工事について、請負代金の額の大きい順に記載

【個人の氏名の記載について】

「注文者」及び「工事名」の欄は、個人の氏名が特定されない方法で記載する

「小計」には、ページごとの完成工事の件数及び請負代金の額の合計を記載

「小計」・「合計」のうち、元請工事に係る請負代金の額の合計を記載

小計	30件	250,000千円	48,000千円	うち 元請工事	
				125,000千円	30,000千円

合計	30件	250,000千円	48,000千円	うち 元請工事	
				125,000千円	30,000千円

当該業種の最終ページの「合計」欄に全ての完成工事の件数及び請負代金の額の合計を記載

様式第3号「直前3年の各事業年度における工事施工金額」の当該業種の「公共+民間」の額と一致

【記載できない工事実績例】下記業務は、兼業売り上げとして整理してください

- ・除草、草刈り、伐採、剪定
- ・側溝清掃、道路清掃、除雪作業、融雪剤散布、設備・機械器具等の保守点検・管理業務
- ・土砂等運搬作業、資材の納入
- ・地質調査、測量調査、設計業務

経営事項審査の申請を行わない場合

記載例

業種ごとに作成する

(建設工事の種類)

とび・土工・コンクリート

「業種追加」「般特新規」で事業年度終了届が適正に提出されている場合は、すでに許可のある業種については工事経歴書の記載は省略可能

該当するものを「○」で囲む

下記の業種については、該当する内訳工事に○印を付し、工事金額を記載
 土木一式：PC
 とび・土工：法面処理
 鋼構造物：鋼橋上部

① 完成工事全体の7割超

個人の氏名が特定されないように記載（「工事名」欄も同様）
 法人名等はそのまま記載

② 未成工事

最後に工事経歴書に記載しない完成工事について、件数及び合計額を「その他 ○件 ○○千円」と記載
 「元請・下請別に「その他 元請○件 ○○千円」「その他 下請○件 ○○千円」としてもよい

その他 23件

「小計」には、ページごとの完成工事の件数及び請負代金の額の合計を記載

「小計」「合計」のうち、元請工事に係る請負代金の額の合計を記載

★ 経営事項審査を申請しない場合の記載方法 ★

【完成工事】

① 元請及び下請工事について、完成工事全体の7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載
 注 「軽微な工事（500万円[建築1,500万円]未満の工事）」が併せて10件に達した段階で記載終了（7割を超えなくても良い）

【未成工事】

② ①に続けて、主な未成工事について、請負代金の額の大きい順に記載

【個人の氏名の記載について】

「注文者」及び「工事名」の欄は、個人の氏名が特定されない方法で記載する
 (例) 「田中 太郎邸新築工事」⇒「A邸新築工事」

小計	30 件	250,000 千円	48,000 千円	うち 元請工事	
				125,000 千円	30,000 千円
合計	30 件	250,000 千円	48,000 千円	125,000 千円	30,000 千円

当該業種の最終ページの「合計」欄に全ての完成工事の件数及び請負代金の額の合計を記載

様式第3号「直前3年の各事業年度における工事施工金額」の当該業種の「公共+民間」の額と一致

【記載できない工事実績例】下記業務は、兼業売り上げとして整理してください

- ・除草、草刈り、伐採、剪定
- ・側溝清掃、道路清掃、除雪作業、融雪剤散布、設備・機械器具等の保守点検・管理業務
- ・土砂等運搬作業、資材の納入
- ・地質調査、測量調査、設計業務